

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハッピーテラス川越教室		2025年2月13日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令基準を順守している	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令基準を順守している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		教室、PCブース、相談室とそれぞれの過ごし方ができる環境になっている。建物にはエレベーターとスロープが設置されているが、事業所内のトイレには段差がある。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除、消毒を実施。状況に応じて利用者の意見を採用。 また、活動内容に合わせて備品の配置を移動。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		落ち着いて過ごしたいときや体調不良の際に訓練部屋とは別に相談室を設けそこで過ごせるような体制にしている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の日誌の記入、月の振り返り作成や朝礼終礼を実施し、その中で職員が全員業務改善のために取り組んでいるため	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		頂いたご意見に対して事業所内で検討し改善に繋げている。またそれらをHPに公開、事業所内にも掲示し報告している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な面談や職員全員が参加する会議を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者委員会などの外部評価はしていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		凸凹ベース株式会社の研修や外部の研修案内を周知して職員が参加する機会を設けている。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年間の支援プログラムを公開している。また、先月実施した訓練をお便り等でお知らせしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の生活の中から変化や得意苦手を見て分析している。個別支援計画作成の際にはケース会議を行い職員間の見方や分析をすり合わせる機会も設けている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援面だけでなく来所したその日を楽しみ過ごせるように集団活動や余暇活動の内容を工夫、調整している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日々の日誌で確認ができています。適宜、朝礼や終礼にてスタッフ間でも確認や意見交換を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールの使用だけでなく、指導員が日々の生活の中からアセスメントを取り支援に活かしている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各利用者の課題、自立に必要な訓練、訓練内容の楽しさなど総合的に判断しどのような支援を行うかを設定している。 また、週間テーマに基づき指導員が立案・協力してプログラムを作成している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全員から案を募集している。内容によっては会議などですり合わせを行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		週ごとにテーマを設定しバランス良い内容になるようにしている。 また、来所生徒によってはより前向きに訓練に取り組めるように内容を調整することもある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		生徒一人一人の状態に合わせてそのように訓練内容を調整している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼、終礼でその日、翌日の支援内容や情報を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼、終礼でその日、翌日の支援内容や情報を確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用者一人一人の個別の記録を作成している。支援計画の更新についてはそれらの記録を根拠としながら更新している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回以上の見直しを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		集団活動、余暇時間を通じてガイドラインに基づいて支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動へ参加自体も本人が決めることができるようになってきている。また、活動の中でも本人が自分で決めて取り組めるような内容を工夫して取り入れている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		理解したものが参加するだけでなく、そういった会の前に最近の様子を指導員間で情報を共有してから参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連絡できる体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて連絡や情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		現状、就学前に利用していた施設の情報が必要な利用者がいないため実施していない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて、情報を提供する用意がある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて連携が取れる体制を整えている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		そのような機会はないが、学童との合同研修に参加する等相互理解に努めている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		放課後等デイサービス連絡協議会を隔月実施しており、それに参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々のフィードバックや報告書の作成などで情報伝達をしている。また、保護者面談にて更なる情報共有もやっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者勉強会の機会を提供している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をし、その都度不明点がある場合には適宜対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画の更新とは別に各ご家庭の考えや悩み相談に特化した面談を原則全ご家庭（希望しないご家庭は除く）に実施している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画に基づいた説明を行い同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者面談やお迎え時、お電話等で悩み相談を聞き、慎重に検討対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者同士がお迎え時に会って話したり、保護者参加可のイベントを実施するなどして交流の機会を設けている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付責任者、解決責任者を設置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月お便りを発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きキャビネットに入れて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		福祉の利用者には申談を提案するなど利用者一人一人の自己肯定感や意思疎通のしやすさに配慮した方法を一緒に考えたり提案するようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現状そのような取り組みは行っていない。地域を散歩するイベントを設けるなど地域交流の機会はある。また、他事業所と合同で行うイベントの実施も行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定し訓練も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご契約時に書面で確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食品の提供を行っていない。お菓子の持参は禁止していないので、アレルギー反応防止の為に手を拭くような掲示を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的な研修、訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡票を作成し、緊急時に使用することを伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを終礼時に確認し、対応について職員間で検討し共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現状対象利用者はいないが、必要が出た際にはそのように対応する。		